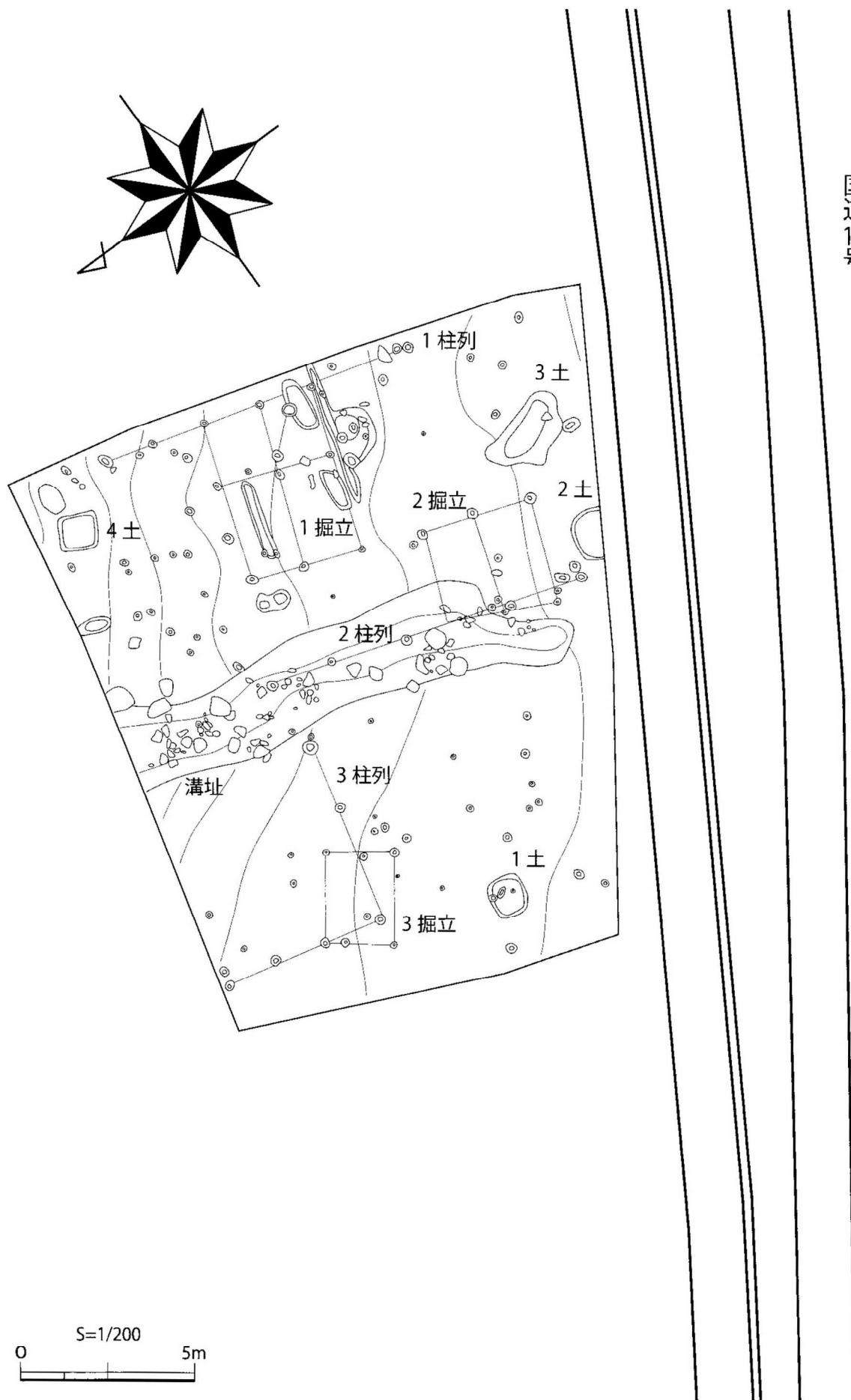


国道  
17号



第11図 名胡桃城址全体図

## 第5章 まとめ

### 1 梨の木平B遺跡

梨の木平遺跡は、県道改良工事に伴って群馬県教育委員会が昭和51年に発掘調査した。縄文時代の敷石住居址のほか弥生時代の土坑や平安時代の住居址がみつかっている。そのうち敷石住居址は、4mほどの範囲を掘り窪めた中央に石囲い炉を設け、周りに平たく割れた石をおよそ五角形敷き詰め、その隙間を小石で埋め、南へ伸びる石列とその付け根に埋設した土器など、非常に丁寧に造られ美しく仕上げられている。この敷石住居址は重要性と素晴しさから群馬県史跡に指定され保存整備されている。

今回の調査地点は梨の木平敷石住居址に隣接した土地であり、当該地にも遺跡が連続している可能性があったが、土坑15基の検出にとどまった。残念ながら敷石住居址に直接結びつく遺構はみられなかつたが、逆に敷石住居址が単独で存在したことが証明でき、その特殊性があらためて見直された。では今回調査された土坑を造った人々は何処に住んでいたのか。また、これらの土坑は何に使われたのか。現在、推し量る資料はないが、縄文時代中期～後期初頭、集落地ではないこの地をテリトリーの一部として生活を営んでいた人々がこの地にいくつもの穴を掘つた。それらは、墓穴やごみ穴などの様にその場所でなくてもいい土坑なのか、はたまた根菜類採取の跡など別の目的で掘られたものなのかわからないが、その時どこからか人が来て何らかの行為を行い帰つていったことは事実である。何かの作業があったことをうかがわせる。

また、県道敷調査の時に弥生時代中期の土器片の存在が取り上げられたが、今回も数点の土器片が出土していて広がりをみせている。その後、平安時代になると周辺に4軒の住居址が発掘調査されていることから居住地の輪郭地であり、さらに、中世末期には隣の台地に小川城が築城されている。南東端にある段差を設けた平場や北側中央付近の土盛り状の高まりは人工的なものとも考えられ、高まり部の東と南には柵状の小ピット列がみられる。しかし、この北側半面は道路敷調査では確認されていない。

### 2 名胡桃城址

今回の調査地点は、外郭の一部であるが般若郭と国道に面する位置にあたる。検出された溝の延長上に外郭の掘り込み部があり、さらに城主要郭群と般若郭の間に通称殿坂のラインと一致することから、郭内の区画溝もしくは排水溝であることがわかる。さらに溝に平行したピット列3列も柵か垣根で仕切つていたことが考えられる。また、溝と柵列の方向は般若郭内の通路及び二郭内の通路と一致し、さらには、馬出しと本郭堀の木橋を結んだラインとも同じである。このことから、名胡桃城址の普請施設のひとつであるとともに、縄張り及び構造に関係した施設であると考えられる。掘立建物址の柱穴は整然と並んではいないが、まとまりをもつていてる。

本調査の内容及び名胡桃城址の築城から廃城にいたるまでの歴史的経緯とは別に、現在までの

発掘調査の成果をまとめる。

昭和57年には国道17号線月夜野バイパスの建設により、城址のうち外郭が分断されてしまった。この建設計画は当初二郭あたりを予定していたと聞き、一応は城址主要部を避けて建設されたことがわかる。しかし、国道建設によって、名胡桃城の出入り口である馬出しと外郭のつながりがわからなくなってしまった。このときの発掘調査では、掘立建物址が5棟検出されている。

この城址は群馬県指定史跡で、平成2～3年度で保存整備基本構想を作成した。その翌年から平成12年度まで、ささ郭、般若郭、馬出し、三郭、二郭と順に発掘調査を進めた結果、堅固な防御機能を備えた山城の姿がわかつってきた。

保存整備に伴う発掘調査の概要は次のとおりである。平成4年度調査のささ郭は唯一土壘が残っている場所で、腰石垣を積んだ土壘間の通路は先端部に礎石が4つ確認され、門があったことがわかった。平成5・6年度調査の般若郭は郭の周囲に堀を回し、クランク状の通路の両側に掘立建物址が数棟みつかった。これらの建物は2～3時期に別けて建てられていたと考えられる。平成7・8年度調査の馬出しは半円形の小さな削り残し基壇で、外郭とは掘り切られ木橋で渡っていたと思われる。平成7・8年度調査の三郭は外郭側が土壘で仕切られ、掘立建物址2棟が確認された。二郭への出入り口に面した位置には三日月堀が調査され、ここにも馬出し施設があつたことがわかった。二郭とは幅14mの喰い違い堀で区画され、中央の土橋は後に盛ったもので木橋の橋脚穴がみつかった。平成12年度調査の二郭は全面に幅5mほどの土壘が回り、南口から北口へ直線で両側溝ももつ道が検出された。郭内は緩斜面をほぼ水平に掘り下げられ、北側土壘に面して堀があり、ここに集まつた雨水は崖下へと排水される。二郭内は未調査区もあるが掘立建物址が6棟以上検出され、中央付近には大きな総柱建物址がみられた。中央通路の北側には礎石4個による門がありクランク状に本郭へとつながっている。本郭堀の土橋も後世のもので、当時の橋脚穴が6つみつかった。本郭の中心には徳富蘇峰書による立派な石碑が建ち、左右の崖が崩落したため法面保護されている。スペースは狭いが、平成17年度のトレーニング調査により周囲の土壘と郭内の掘り下げ、ささ郭側の掘り切りに面した門址など、二郭に似た構造であることがわかつている。

## 参考文献

- 群馬県教育委員会 1977 「梨の木平遺跡」
- 群馬県埋蔵文化財調査事業団 1984 「城平遺跡・諏訪遺跡」
- 群馬県 1988 「群馬県史資料編1」
- 群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999 「群馬県遺跡大事典」

## 報告書抄録

|            |  |  |
|------------|--|--|
| ふりがな<br>書名 | なしのきだいら Bいせき・なぐるみじょうし<br>梨の木平B遺跡・名胡桃城址 |  |
| 副書名        | 埋蔵文化財発掘調査報告書                           |  |
| 編著者名       | 三宅敦氣・田村 司                              |  |
| 編集機関       | みなかみ町教育委員会                             |  |
| 所在地        | 〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318             |  |
| 発行年月日      | 2009年1月30日                             |  |

|               |                                |                                |
|---------------|--------------------------------|--------------------------------|
| ふりがな<br>所収遺跡名 | なしのきだいら Bいせき<br>梨の木平B遺跡        | なぐるみじょうし<br>名胡桃城址              |
| ふりがな<br>所在地   | みなかみまちつきよのあざやぶた<br>みなかみ町月夜野字藪田 | みなかみまちしもづあざじょうひら<br>みなかみ町下津字城平 |
| 市町村コード        | 104493                         | 104493                         |
| 遺跡番号          | T0349                          | T0196                          |
| 世界測地系         | 北緯36°41'39"<br>東経138°58'53"    | 北緯36°40'09"<br>東経138°59'26"    |
| 調査期間          | 1988.11.25～1988.12.14          | 1989.2.2～1989.2.14             |
| 調査面積          | 約900m <sup>2</sup>             | 約300m <sup>2</sup>             |
| 調査原因          | マンション建設                        | レストラン建設                        |
| 遺跡種別          | その他                            | 城館                             |
| 主な時代          | 縄文時代                           | 中世                             |
| 主な遺構          | 土坑15基                          | 掘立建物3棟・溝1条                     |
| 主な遺物          | 縄文中期土器・石器                      | 磁器                             |
| 特記事項          |                                |                                |
| 要約            | 県指定史跡梨の木平敷石住居址の隣接地にあたる土坑群。     | 県指定史跡名胡桃城址の外郭の馬出に隣接する城址関連遺構。   |

### 梨の木平B遺跡・名胡桃城址埋蔵文化財発掘調査報告書

平成21年1月30日 発行

編集／みなかみ町教育委員会

みなかみ町後閑318

0278-25-5025

印刷／朝日印刷工業株式会社

前橋市元総社町67

027-251-1212